



ラオス・ヘルスサイエンス大学歯科用CBCT贈呈式



## 歯学部への入学を心から歓迎します

日本大学歯学部 学部長 本田 和也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが本学部に入學し日本大学歯学部の一員となられたことを心から歓迎いたします。日本大学は、明治政府の初代司法大臣を務めた山田顕義伯爵を学祖とし、教育の理念を端的に表す言葉として「自主創造」を掲げています。自主創造とは、自ら考え、自ら学び、自ら新しい道を切り開いていくという意味です。日本大学歯学部は、その前身となる東洋歯科医学校を創設した佐藤運雄博士が唱えた「医歯一元論」を教育の理念として掲げています。医歯一元論とは、医学的基礎に立脚した歯科技術の向上と人格の教化を目指すという意味です。つまり、学生諸君は単に歯科技術を身につけるために学ぶのではなく医学的基礎、すなわち歯学を口腔や歯だけにとどめず、全身と関連させて統合的に学ぶべきであるということであり、この建学の趣旨は歯学部の教育方針にしっかりと根付いています。皆さんは、これらの教育理念に基づいて常に高い志を持ち、何事にも自ら積極的に取り組む姿勢を示し、基礎医学の知識と問題解決能力を十分に備えた人間性豊かな人格を有する歯科医師を目指してください。また、歯学部は文武両道、つまり学業に精励するとともに、クラブ活動など課外活動への参加も推奨しています。クラスやクラブ活動を通して、互いに切磋琢磨し合える友人を多く作り、充実した学生生活を過ごしてください。

(教授 歯科放射線学講座)

# 新入生の皆さんへ

## 自ら発信しよう

学務担当 鈴木 直人



ご入学おめでとうございます。これからの6年間で新しい学問に触れ、一生の友人達と出会い、課外活動では普段のカリキュラムでは味わえない経験をするでしょう。日本大学の教育理念「自主創造」は「自ら学ぶ」、「自ら考える」、「自ら道をひらく」の

3つの要素から成り立っています。歯科医師に求められる知識や技能を身に付けるには、受け身ではなく「自ら学ぶ」貪欲な姿勢が必要です。そこから「自ら考え」、「自ら道をひらく」ことに繋がります。さらにもう一つ加えるとすれば、自分の考えを「自ら発信する」習慣を意識すれば学んだことの習熟になります。皆さんが充実した6年間を送られることを願います。  
(教授 生化学講座)

## 自ら 仲間と共に 歩む



学生担当 植田 耕一郎

ご入学おめでとうございます。本学部新たに全国から集まった精鋭達の出会いが生まれました。これからの6年間は、新しい学問に触れ、クラブ活動では普段得ることのない経験を積み重ねていくことになりましょう。

多様な価値観を受容し、その中から自己の立場や役割を認識する、病だけではなく、人を見る歯科医師へと成長していくことを願っています。期待と不安のスタートだと思えます。相談の窓口や話し合いの場は、本学部には沢山準備されています。教員、職員、先輩方が力を合わせて皆さんの学生生活を支援します。  
(教授 摂食機能療法学講座)

## 知識と技量

日本大学歯学部同窓会会長 小幡 純



入学おめでとうございます。立派な歯科医師になるという希望に燃えて入学したことでしょ。

現在では質の高い医療を提供しなければなりません。そのために確固たる知識と技量を取得する事が必要です。日本大学は総合大学です。他の歯学部と異なり各学部との連携をとりなが

ら様々な分野で知識を得ることも出来ます。

皆さんは入学時から同窓会の準会員になります。同窓会は100年近い歴史を持ち、約9000人の会員が日本歯科医師会を始め全国で活躍し、また地域医療にも多大なる貢献をしています。そして同窓会は会員を生涯バックアップしていきます。

新入生の皆さん! 卒業までの6年間の教育で好奇心をもって professionalism as a doctor を養ってください。

## 考え続ける忍耐力

後援会会長 横江 順



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これまでの皆さんの努力に敬意を表すとともに、皆さんを支えていらしたご家族や関係者の皆さまにお祝い申し上げます。大学の教育とは知識の蓄積と理解度だけを

向上させるものではなく、既存の知識や技術を用いて、いかに新しい発想や発見が生み出されるかを問うものです。その創造の精神を教職員と学生が一体となって高めるところにこそ、新しい価値が生まれます。すべての学生が同じ目標に向かって能力を高めても革新には結び付きません。正しく、賢い選択をするためには、情報を正しく読み、他者の知識や経験を総動員して自己決定する意思を強く持つことが必要です。大学キャンパス以外にもこうした対話と実践の場を多く設け、「自分が歯科医師になる道を選んだ」と言う、自己決定に対する責任を持ち、強い忍耐力で賢く心豊かな歯科医師になってください。



## 新入生の皆さんへ

学生会会長 小野 敏英



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。生活環境などが大きく変化し不安な気持ちもあると思います。しかし、皆が歯科医師になるという同じ目標を持ち6年間楽しい時も苦しい時も共にすることは皆さんにとって大きな

財産となるでしょう。新たな仲間や先生との出会いを大切に、充実した日々を過ごしてください。その中で自分の理想とする将来像を模索し、日本大学で学べたことに誇りを持った歯科医師になれるように互いに頑張りましょう。学生会は皆さんの学生生活がより良いものになるよう、様々な意見に耳を傾け全面的にバックアップしていきますのでよろしくお願ひします。  
(第6学年)

## クラブ協議会から

クラブ協議会会長 加藤 博之



新しい年度に入り、数多くの新入生が入学して来ました。各クラブは新入生に向け、様々な企画を用意していることと思います。本学部には多くのクラブがあり、選択肢がたくさんあります。全く新しい事を始めるのもよし、今までやって来た事を続けるのもよいで

しょう。クラブに入部することで、縦の繋がり、横の繋がりができます。皆さんが入って良かったと思えるようなクラブに入部してほしいと思います。

近年、国家試験の難易度も上がっていることもあり、クラブ活動に時間を割くことが難しくなっています。しかし、そこで過ごす時間は、自身を成長させ、また、将来の財産にもなると思います。本学部の「文武両道」という素晴らしい校風を実現するためにクラブ協議会として最大限のバックアップをしていきたいと思ひます。  
(第5学年)

## 事務局の紹介

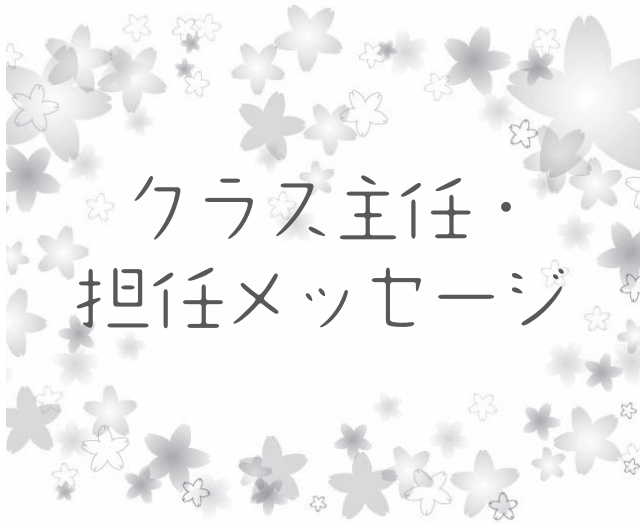
**【教務課】** 入学時の学生証の発行から歯科医師国家試験受験に関する手続きまで、授業や試験などの勉学に関する事務手続きを扱っています。勉学上必要な事項は『学部要覧』や『授業計画(シラバス)』に記載してありますので、これらによく目を通し、常に手元に置いて下さい。また、授業や試験に関する連絡は掲示をもって行います。そのため、常に掲示板を確認する習慣を身につけて下さい。

**【学生課】** 快適で充実した学生生活を送るために様々な支援を行っています。窓口では通学証明書及び学割の発行、忌引や病気などによる欠席届や住所変更届などの諸届けの扱い、各種奨学金の手続きなどを行っています。また、クラス懇親会に対する助成手続、学生会やクラブ活動に関する相談や助言なども行っています。さらに、球技大会、桜歯祭、NU祭、日本大学体育大会、全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの学生行事にも携わっています。

**【学生相談室】** 皆さんが学生生活を過ごしていく上での様々な問題について、学生の立場に立って相談に応じています。「こんなことを相談するのは恥ずかしい」などと気がねせず、気軽に訪問してください。6年間の学生生活では、辛いこと、困ったこと、誰かに話を聞いて欲しいこと、様々なことがあると思います。他人にとっては些細に思えることでも、本人にとっては、とても大事なこともあります。相談員は、インテーカーの資格のある教員(月曜日昼休み)に加え、日本大学本部学生相談センターより、臨床心理士が配置されています(火～金曜日)。守秘義務のある専門家が、皆さんの立場になって話を聞きますのでプライバシーは厳守されます。他者に話をすることで、気持ちが整理されたり、新たな視点に気付くことがあるかもしれません。学生生活に何らかの困難を感じた時、選択肢の一つとしてください。

**【保健室】** 体調不良やケガの対応、また日頃の健康管理についても支援しています。大学生になり、独り暮らしをする学生も多いと思います。無病、快眠、食欲などは健康のバロメーターです。日常の健康管理の悩み、心配事など独りで悩まずに、気軽に相談してください。学校医への相談も可能です。保健室では、原則として投薬はできません。頭痛持ちや胃腸の弱い方などは、日頃使用している薬を携帯し自己管理をお願いします。

**【図書館】** 学習や臨床、研究に必要な図書や雑誌を取り揃え、貸出・返却の手続き、他機関からの資料の取り寄せ、調べ方の案内などを行います。図書館ホームページから各種検索データベースを利用して、幅広く学術情報を収集することができます。貸出状況・貸出履歴確認、購入リクエスト、メール質問などのオンラインサービスも利用できます。分からないことは図書館員に気軽にお尋ねください。



第一学年

主任	本 吉 満	教 授	歯 科 矯 正 学
担任	佐 藤 紀 子	准 教 授	健 康 科 学
担任	田 邊 奈 津 子	准 教 授	生 化 学
担任	山 岡 大	准 教 授	基 礎 自 然 科 学
担任	白 玉 博 司	助 教	口 腔 外 科 学

**本吉主任：**我々を取り巻く環境は年々厳しさを増すと言われています。しかし、悲観することはありません。これからの6年間、歯科医師になることに誇りを持ち、勉学に励んでください。そして、趣味や運動との両立を図り、充実した学生生活を送りつつ、この険しい峠を乗り越えてください。君たちの将来は薔薇色になると確信しています。



**佐藤担任：**ようこそ、日本大学歯学部へ！何事にも一生懸命取り組んでみましょう！頑張る人のことを多くの方が気にかけて、応援してくれます。人との出逢いを大切に、真剣に人や物物に向き合ってみてください。得意なこと、苦手なこと…自分のことを知る1年にしましょう！



**田邊担任：**1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから6年間の長い学生生活がスタートし、学生生活に対して期待や不安など様々な思いがあるかと思います。担任として、皆さんが快適な学生生活が送れるようサポートしたいと思います。よろしくお願ひします。



**山岡担任：**大学生活のスタート、歯科医師への一歩、そして国家試験に向けた挑戦の始まりです。これからは自ら考え、学び、道を切り開く姿勢が強く求められます。また、クラス全員が苦楽をともに、栄光を勝ち取る各自の強い意志が必要です。クラス担任はそのサポート役です。



**白玉担任：**新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。「患者さんにとって良い歯科医師」となるためには、6年間歯科医学をしっかりと学び、クラブ活動や学内行事を通じて様々な経験を積むことが大切です。皆さんが良き1年を過ごせるよう、サポートしていきます。



第二学年

主任	今 井 健 一	教 授	細 菌 学
担任	山 崎 洋 介	准 教 授	解 剖 学 II
担任	佐 藤 恵	専 任 講 師	基 礎 自 然 科 学

**今井主任：**解剖学や生理学など歯科医学に関する授業が始まり、歯学部生ということを実感すると思います。実習も多く忙しくもなります。勉学は勿論ですが、目標を立て自ら考え学び、それを達成することによりこれまで見えなかった景色がきっと広がります。短期、中期の目標をしっかりと立てそして夢を抱き大学生活を謳歌してください。私たちは昨年に引き続きサポートしていきます。

**山崎担任：**たのしみは 朝起きいでて 昨日まで 無かりし花の 咲ける見る時。やっと手にした大きな喜びのほか、日々のちいさな愉しみもあります。人生の目標の礎に、毎日の努力や積重ねの達成があります。どれも大切に、自己実現を成し遂げてください。

**佐藤担任：**希望と不安の新年度を迎えたことと思います。不安はさまざまな選択肢や可能性があるからこそ抱くものです。みなさんの持つ大きな可能性にチャレンジする1年を過ごしてください。再び担任としてみなさんのチャレンジをサポートします。

第三学年

主任	小 林 真 之	教 授	薬 理 学
担任	澤 田 久 仁 彦	専 任 講 師	歯 科 放 射 線 学
担任	関 野 麗 子	助 教	歯 科 麻 醉 学

**小林主任：**歯学部学生生活の中間にさしかかる第3学年。歯科医師になるための学問を学び始めて2年、希望半分不安半分、といったところでしょうか。中だるみしやすい時

期ですが、好きなことに打ち込める時間がとりやすくもあります。学修はもちろんですが、豊かな人間性と教養を身につけるために様々な経験を積んで欲しいと思います。

**澤田担任：**ご進級おめでとうございます。3学年となり、歯科臨床分野の講義と実習が始まる学年になります。2学年までに学んだ基礎医学を基に学習することになりますので、しっかり計画を立て充実した1年を過ごしてください。

**関野担任：**新第3学年の皆さん進級おめでとうございます。3年生は、より歯科臨床に即した講義や実習が始まります。将来の自身の歯科医師像が次第に固まってくる学年でもあります。クラブでは部員をまとめる中堅学年となり、より責任感が求められます。充実した1年にしましょう。

#### 第四学年

主任	米原啓之	教授	臨床医学
担任	津田啓方	准教授	生化学
担任	中井久美子	助教	衛生学

**米原主任：**第4学年でも臨床系教科を中心とした講義と実習が行われます。これらの内容は次年度診療に参加して行う臨床実習に向けて重要な講義および実習です。また、後半にはこの臨床実習に必須の共用試験OSCEおよびCBTも行われます。入学時に持っていた歯科医師になる気持ちを今一度確認して、心新たに新学期をスタートしてください。

**津田担任：**皆さんにとって今年は歯科臨床実習に向けての基礎的な学習を完成させる時期になります。一方で、勉強以外の学生生活も充実したものにできる時期でもあります。この大事な一年をどう過ごすかをよく考えましょう。どのように過ごされるかは皆さんの心次第です。

**中井担任：**ご進級おめでとうございます。学生生活もついに折り返し地点となりましたが、これからの3年間は今まで以上に内容の濃い日々になると思います。まずは、4年の山となるCBTやOSCEを乗り越え、5年生へとつながる知識を着実に身に付けていきましょう。

#### 第五学年

主任	浅野正岳	教授	病理学
担任	藤田智史	准教授	薬理学
担任	秀真理子	助教	臨床医学

**浅野主任：**第5学年進級、おめでとうございます。CBT、OSCEという高いハードルをクリアして、いよいよ臨床実習が始まります。この1年間は座学が少なく、学力の低下が著しいとされる時期です。これまでに学修してきたことを折に触れ復習し、忘れないようにしましょう。国家試験は目前です。歯科医師免許取得に向けて気を引き

締めて！

**藤田担任：**5年生の臨床実習は将来、歯科医師として行う診療を間近で経験する貴重な時間です。近年、歯科医師国家試験では臨床で見るとべきものを見ましたか？理解できていますか？と問う問題が増えています。座学と実際の臨床を結ぶ大切な一年、応援しています。

**秀担任：**5年生になり、いよいよ院内実習が始まります。今まで学んできた知識と臨床を結び付けることにより、記憶がしやすくなります。また、一医療人として診療を受けに来る患者さんからは評価されます。病院内ならびに近隣ではしっかり自覚をもって行動しましょう。

#### 第六学年

主任	川戸貴行	教授	衛生学
担任	清水康平	准教授	歯科保存学Ⅱ
担任	池田貴之	専任講師	歯科補綴学Ⅰ
担任	古地美佳	専任講師	総合歯科学
担任	武井浩樹	助教	小児歯科学

**川戸主任：**第6学年でクリアしなければならないハードルはとて多いですが、決して怖がるほどの高さではなく、その形も見慣れたものです。学内の試験や模擬試験の期日が近づくのをドキドキしながら待つのではなく、十分な助走をつけつつ冷静に歩幅を合わせ、自分のフォームで一つずつ超えて行きましょう。

**清水担任：**昨年度から引き続き第6学年のクラス担任を務めさせていただきます。本年は国家試験を迎えるにあたり様々な悩みが生じるとは思います。地道に努力し、着実に勉強すれば必ず結果に結びつきます。本年は、特にこの時期のスタートダッシュが重要です。全員で一丸となり、国家試験突破に向けて頑張りましょう。

**池田担任：**ついに最終学年の6年生になりました。国家試験合格を目指すとともに6年間におよび大学生生活も最後となります。これまでの学年同様に毎日を無駄にせず、充実した日々を過ごすようにしてください。

**古地担任：**進級おめでとうございます。この1年は勉強が大変だと憂鬱に思っていないですか。でもこの勉強は歯科医師になった瞬間から役立つのです。臨床実習後の学修は、更に面白く感じられるはず。たくさん勉強して歯科医師としての良いスタートを切りましょう。

**武井担任：**新たに第6学年クラス担任を務めさせていただきます。いよいよ国家試験を受験する学年となります。合格への近道はなく、大事なものは日々の勉強になります。皆さんが来春を歯科医師として迎えられるようにサポート致しますので一緒に頑張りましょう。



# 121名に学士(歯学)の学位記を伝達 ～学部長賞などの各賞を21名に授与～



3月25日、全電通労働会館において、歯学部卒業式並びに学位記伝達式が行われました。来賓や教職員、父母が参列する中で本田歯学部長から学位記が伝達され、併せて学長賞、優等賞、学部長賞が授与されました。また、小幡同窓会会長より歯学部同窓会会長賞が授与されました。同日、大学院歯学研究科修了者39名にも本学部大会議室にて、博士(歯学)の学位記が伝達されました。



## 星まなみさんに学長賞

日本大学は各学部において、在学中の学業成績が最も優れていた者に学長賞を授与しています。本年度の受賞の栄誉に輝いたのは星まなみさんでした。

**星まなみ**：この度は素晴らしい賞を頂き、誠に光栄です。支えてくださった先生方をはじめ、皆様に変な感謝しております。私はこの6年間勉学と共に、クラブ活動にも励んで参りました。クラブ活動のお陰で勉学に打ち込めたと言っても過言ではございません。本学の“文武両道”の精神を今後も大切に、そして引き継いでいけたらと思います。ここで学んだ知識と思い出を胸にこれからも精進して参ります。

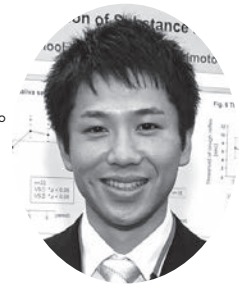


とを誇りに思います。とくに勉強面や精神面をサポートしてくれた友人や関係者の皆様には心から感謝しています。将来、人世のために役立つ歯科医師となれるよう今後とも研鑽を積んでまいります。

**本間友千佳**：このような素晴らしい賞を受賞できまして、大変光栄に存じます。

長きにわたり支えてくださった先生方や友人、それに家族からの心温まるサポートが、私にとりましてはかけがえのない宝物となっており、今はただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も研鑽を積み、日々精進を重ねてまいる所存です。未永くご指導を賜れば幸甚に存じます。この度は誠にありがとうございました。



## 29年度卒業生3名に優等賞

学業成績が学長賞に準ずる者に授与されるのが優等賞です。本年度は小助川聖史さん、関本愉さん、本間友千佳さんの3名が受賞されました。

**小助川聖史**：この度は名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。

振り返ると多くの方々に支えられ、充実した大学生活を送る中で大きく成長することができたと感じています。

ご指導ご鞭撻を賜りました先生方に深く感謝申し上げます。

また、日々を共に過ごした友人たちにも心から感謝しています。今後は一人の歯科医師として、この賞の名に恥じぬよう研鑽を積んでいきたいと考えています。

**関本 愉**：先生、友人、職員の方など数多くの方々に6年間たいへんお世話になりました。勉学の他、クラブ活動や委員会活動、研究発表(SCRIP)、他大学での研修など、正直辛かったこともありますが、貴重な経験ができましたこ



## 学部長賞を11名が受賞

優等賞に準じた功績を修めた者に授与される部科校長賞には、学業部門、学術・文化部門、体育部門、善行部門、その他があります。本年度は、学業部門：小泉舞、佐野静香、清水なつ生、高野了己、福井はるか、体育部門・その他：朝山雄之、井出翔太、清水大輔、その他：嘉悦峻、関本愉、平間悠介のみなさんが受賞されました。



## 歯学部同窓会会長賞を7名が受賞

人物優秀で、学業・体育などの部門で優秀な成績を修め本学部の名誉を高揚した者、ならびに学生生活活動の推進に著しく貢献し、本学部の発展に功績が認められた者に授与される同窓会会長賞を、有輪七海、石井久賀、岡篤志、鬼澤瑞季、小野大貴、小池亜弥、小泉舞のみなさんが受賞されました。



小泉舞



佐野静香



清水なつ生



高野了己



福井はるか



朝山雄之



井出翔太



清水大輔



嘉悦峻



関本愉



平間悠介



有輪七海



石井久賀



岡篤志



鬼澤瑞季



小野大貴



小池亜弥

## あっという間の6年間

平成29年度卒業生代表 朝山 雄之

入学後6年経ち、沢山の思い出ができました。学修内容は、学年が上がるにつれ専門的かつ高度な歯科医学の内容となっていました。また、その知識の定着度の確認として、4年次では1つ目の通過点であるCBTを迎えました。その後5年次では、それまでに座学および実習で学んだ内容を、患者さんを介して学修する病院実習が始まりました。課外活動においても、桜歯祭、NU祭、球技大会等で、学年を超え、学生だけでなく、関係教職員の方々と接することができました。また、最高学年である6年次での国家試験に向けてのこの1年は、今まで以上に学年内で一致団結し闘うことができたと思います。

学生生活の6年間、実りある生活を送れたことに感謝しています。4月から歯科医師となり、医療人として精進していきます。6年間、本当にありがとうございました。



新コラム

## 医療情報について

## 第1回「地域医療連携」

尾崎 哲則



今年の4月から「地域医療構想」が始まりました。団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題を代表とする人口の超高齢化に伴う要介護者および医療費・介護費用の増加等に対応するために制定された「医療介護総合確保推進法」には、医療介護総合確保計画策定の推進と医療制度・介護保険制度の改革が定められています。この改革では、「病床の機能強化・分化」と「地域包括ケアの展開」「病院完結型から地域完結型への転換」を目指しており、これによって始められたのが「地域医療構想」です。

ここで求められているものは、在宅療養者が地域で尊厳を持って生活していくために、彼らに必要な医療や介護サービスを適切に提供する地域医療システムです。すなわち、病院などの医療機関での治療やケアの枠組みにとらわれず、地域住民の健康を地域全体で支える医療体制です。

ここで求められているものは、在宅療養者が地域で尊厳を持って生活していくために、彼らに必要な医療や介護サービスを適切に提供する地域医療システムです。すなわち、病院などの医療機関での治療やケアの枠組みにとらわれず、地域住民の健康を地域全体で支える医療体制です。

そのため、地域の医療機関（病院・診療所・歯科診療所・訪問看護ステーションなど）が自らの施設の実情や地域の医療状況に応じて、医療機能の分担と専門化を進めます。それと同時に、医療機関同士が相互に円滑な連携を図り、有する機能を有効活用することで、患者が地域で継続性のある適切な医療を受けられるようにするものです。このことを、地域医療連携と呼んでいます。当然そこには、在宅歯科診療等の歯科医療が含まれています。

地域医療の名のもとに実施される取り組みは様々ですが、ここにあるのは病名の判断とその治療に重点を置く「病気中心」の医療から、人が豊かな生活を送るために必要な健康を守るという「人中心」の医療への転換です。

これらの連携は、医師などの医療従事者が主体となり、地域住民に対して疾病の予防や健康維持・増進のための活動も行います。現在は、在宅療養や地域に住む高齢者対応が主体ですが、障害者への支援活動、妊婦への保健指導や相談、子育て支援なども徐々に行われています。

(教授 医療人間科学分野)

ラオス・ヘルスサイエンス大学  
歯科用CBCT贈呈式

新井 嘉則

最新の歯科用CBCT(Veraview epocs 3Df モリタ製作所 京都)が、本学の支援によってラオス・ヘルスサイエンス大学歯学部で運用が開始されました。その記念式典が2月10日に現地で盛大に挙行されました。ラオス側からは保健省大臣(Dr. Bounkong Syhavong)、ヘルスサイエンス大学総長(Prof. Phouthone Vangkonevilay)、歯学部長(Prof. Sengphouvanh Ngonephandy)、さらには在ラオス日本大使館から一等書記官(阿世知宏行様)にもご出席いただきました。本学からは本田和也歯学部長、中島一郎教授、新井嘉則特任教授、江島堅一郎専任講師らが招待され、本田教授、江島講師による講演も実施されました。

振り返れば、11年前の2007年に本学歯学部が文部科学省の国際教育の拠点形成事業に採択されたことを契機にし、当時の大塚吉衛兵歯学部長のサポートによって最新のデジタルパノラマX線装置がラオス・ヘルスサイエンス大学歯学部での運用を開始されました。その後、両大学間で多くの人材交流が行われてきました。その間に3万症例近いX線撮影が実施され、ラオス国民の健康増進に大きく貢献してきました。

2012年には日本大学学長特別研究において遠隔画像診断研究がラオスと日本で開始されるなど医療分野における両大学間での研究段階へと発展しています。

今回はそれに引き続き、歯科用CBCTの運用が開始されました。この歯科用CBCTは3次元的な画像を提供するもので、本学で発明され日本大学産官学連携知財センター(通称NUBIC)からモリタ製作所に技術移転して開発された装置です。この最新装置は、コンパクトでありながら、従来のパノラマ撮影を可能にした画期的な装置です。メンテナンスも非常に簡便で信頼性の高い装置で、海外での過酷な環境であっても十分にに対応できる仕様となっています。

現在、ラオスはASEAN共同体の様々なプロモーションによって急激な経済発展がなされています。その中で、“保健医療の向上”をテーマとした本学との長期にわたる国際交流は現地で大変高く評価されました。今後も、“自主創造”の精神のもとに、本学との“絆”のますますの発展が期待されるところです。

(特任教授 歯科放射線学講座)





## 平成29年度 第2回FD講習会

米山 隆之

平成29年度第2回歯学部FD講習会は、昨年12月5日(火)17:30から大講堂で開催され、参加者は140名でした。今回のテーマは「授業でのICTの活用—歯学教育に活用できるeラーニング教材の作成—」で、東京医科歯科大学から教育メディア開発を担当されている木下淳博教授をお招きし、授業でのICT(Information and Communication Technology)の活用方法についてご講演していただきました。今回の講習会は、タブレット、PCやスマートフォンを各自持参し、オンライン動画教材の作成法、サイトとスマートフォンを活用した双方向授業、動画教材の配信法などについて、実際にソフトウェアを使って体験しながら進められました。

情報通信技術が進展し、社会生活の隅々まで普及しており、教育への導入も進められています。板書を中心とした講義から、パワーポイントやタブレットを活用する授業に変わってきており、創造的、効率的なICT活用教育が求められています。が、まだ十分には実施できていないのが現状です。近年、アクティブラーニングが推奨されていますが、歯学教育では教えるべきことが膨大なため、あまり多くの授業時間を割くことはできません。そこで、今回の講習会では、知識伝達部分はeラーニングで自学自習させ、授業時間内はその知識を活用してアクティブラーニングを行う方法について解説されました。パワーポイントに動画を導入する方法、QRコードやクリッカーの活用方法などについて、事例を示しながら説明されるとともに、教材の作成に必要な引用や複製における著作権の問題についても詳しく解説され、今後の教育改善に向けて大変有意義なご講演でした。

(教授 歯科理工学講座)



## 全学FDワークショップ 2017

三澤 麻衣子

9月8日および9日に、各部科校で教育開発を担当する教職員が一堂に会し、全学FDワークショップが開催されました。本学部からは、タスクフォースとして菅野准教授(歯科保存学第Ⅱ講座)、受講者として久保美希課員(教務課)と三澤が参加しました。「大学教育における課題の解決に向けて—教育能力の開発(Faculty development)を企画・運営できる人材育成—」というテーマのもと、カリキュラムについて活気ある意見を交わすことができました。(専任講師 医療人間科学分野)



## 日本大学 学生FD CHAmmit2017に参加して

山 由起

今回初めてチャミットに参加したので、最初は何をするのか解らず、他の学部の学生と打ち解けられるか不安でした。でも一緒に参加した先生や先輩にいろいろ教えていただいて、楽しく参加することができました。普段はほとんど関わる事のない他学部生と交流しながら、大学をより良くするためにはどうすればいいのかを話し合い、貴重な経験をすることができました。歯学部と他学部では違うことがいろいろあってとても驚きました。(第3学年)



# 平成30年度歯学部予算の概要

経理長 宮崎 啓一

平成30年度歯学部予算が、3月開催の理事会で承認されました。予算計上した特徴的な事業計画及び収支状況は以下のとおりです。

## 1 予算計上した特徴的な事業計画

① 臨床実習アドバンストの導入（5年次教科「臨床実習」を踏まえて「臨床実習アドバンスト」を6年次に開講する）	《継続事業》
② 歯学部同窓会奨学基金の創設 給付対象者：学業・課外活動優秀者	《継続事業》
③ 三島歯科医療センターの充実（本年4月から一般歯科診療が実施可能に）	《新規事業》
④ 新校舎新築工事 歯学部創設100周年記念事業	《継続事業》

## 2 歯学部総合予算（事業活動）の収支状況

平成29年度 歯学部総合予算	
事業活動収入合計	69億1,500万円
事業活動支出合計	76億5,000万円
基本金組入額合計	△4億2,600万円
当年度収支差額	△11億5,600万円

前年度予算と比較すると収入の部では、耐震関係補助金や新病院移転に伴う医療収入等の減収により、事業活動収入が2億3,200万円の減収になりました。一方、支出の部では、新病院の医療用機器等の購入費用や第2期工事建設費等により、事業活動支出が11億9,700万円の支出増となり、収支は14億2,900万円悪化しました。また、基本金組入前当年度収支差額は、7億3,000万円の支出超過、基本金組入後（将来の資産取得額控除後）は、11億5,600万円の支出超過となりました。

平成30年度は第1期新校舎建物（病院・研究室等）の工事が完了し、10月1日に新病院が開院します。また、10月からは第2期工事が始まり、2号館が取り壊されます。資金の一時的な不足が生じるため総合積立金30億円を借り入れて対応します。これは31年度から10年で返済する予定です。また、第2期工事が終了するまで支出超過が続くことが予想されます。このような財政状況を御理解いただき、医療収入の減額を最小限に留めるとともに予算の執行に当たっては、効率的・効果的に対応するようお願いいたします。

※基本金組入額 学校法人が必要な資産を継続的に保持するための組入れ額（将来の資産取得額）。



# 「京の和菓子」

深瀬 康公

古書店で目にした1冊が私の心を引いた。題名も「京の和菓子」と直球ど真ん中。世界的に和食への関心が高まる中、日本には多様で豊かな自然があり、そこで生まれた食文化も育まれ、このような『自然を尊ぶ』という『食』に関する『習わし』が『和食；日本人の伝統的な食文化』として平成25年12月4日ユネスコ無形文化遺産に登録された背景も大きい。

この本は、ハードカバー、ビニールのカバー掛け、しかもケース付きというなんと丁寧な装丁である。昭和50年発行、40年以上前である。古書独特の匂いが心地よい。ケースには京都市内の和菓子店の絵地図（付録にも収録）、表紙は菓子店舗の佇まいが和紙に水性画で描かれており京都好きにはたまらない趣である。題名からして京都にある和菓子の紹介本であるが、今風の食レポ・蘊蓄（うんちく）本的なものではない。それぞれの和菓子を書者の人柄が溢れるエッセイを加えて紹介している。老舗和菓子店の代表的な菓子を選び、その菓子の謂われや成り立ち、製造にまつわる逸話とともに、その菓子と著者との思い出が綴られている。この思い出に、また心をそそられる「色」があるのだ。甘い和菓子と、人と人との出会いや心のふれあいなどの「はんなり」、「ほっこり」した思い出のベストマッチとでも言おうか。そこで思わず菓子に手が伸びてしまう。

この「京の和菓子」を読むと、和菓子に潜む四季や風景の「見立て」と口中に広がる和菓子の味わいと調和がより一層楽しめ、和菓子が苦手な方でも一読の価値あり、そんな一冊である。

（専任講師 歯科理工学講座）



## 第5学年校外研修

新井 友依子

3月1日から2日にかけて京都にて研修旅行が実施され、総勢98名の学生が参加いたしました。当日は午前・午後と1つずつの工場見学と寺社仏閣見学を行いました。

(株)モリタ製作所では、歯科ユニットチェアーやパノラマエックス線装置の制作過程やそれに合わせ今までの発展を展示してある資料館の見学をさせていただきました。資料館での立位診療時代のユニットと現在の最新型の歯科ユニットチェアーの両方を1度に拝見し白熱灯から現在は当たり前となっている无影灯への変化をはじめ、素材や内蔵機能の変化を実際に目で見て感じる事が出来ました。

(株)松風では、人工歯や切削器具を始めとした歯科器具制作過程やそれらの資料室を見学させていただきました。中でも、資料館に展示されていた人工陶歯の種類の数には圧倒されましたし、江戸から明治にかけて使用されていた木製の義歯を実際に拝見できたことは貴重な体験だったと思います。

両工場見学で日進月歩している技術や研究成果、患者さんへより良いものを提供したいという思いに我々も診療する際の姿勢を再度考えさせられました。

昨年4月から約1年間の臨床現場での院内実習では、右往左往することもありましたが実習とはちがう実際の治療現場に学ばせて頂くことの多い年になったと思っています。また実際に患者さんに携わった後の今だからこそ本研修は我々にとってより身近なものとなり、実りの多いものとなったと思います。最後になりますが、お忙しい中今回の研修にご協力いただいた(株)モリタ製作所並びに(株)松風の皆様方、また引率して下さった先生方、ご支援いただいた後援会の皆様方に感謝いたします。

(第6学年)



## 球技大会に向けて

球技大会実行委員長 瓦井 海年



今年度の球技大会は5月22日(火)に東京武道館にて開催されます。2020年の東京オリンピック開催に向けてスポーツ界が盛り上がりを見せています。「sports」という言葉は、「楽しみ」「遊ぶ」を意味する「disport」に由来すると

言われています。球技大会は学部、学年、クラブや教職員関係無く、多くの方が参加する一年に一度のスポーツイベントです。皆様には「楽しむ」事を第一に、球技大会を通じて縦、横、斜めの繋がりをより一層強くしていただきたいと思います。昨年度まで先輩方が築き上げて来た球技大会を礎に、より良い大会を行えるよう実行委員一同尽力させていただきます。皆様ぜひご参加下さい！ (第5学年)

クラブ  
だより

## ヨット部

主将 泉田 拓郎

こんにちは。ヨット部です。私達ヨット部の活動期間は4月から10月までです。私自身は、オフの期間を勉強やアルバイト、その他趣味などに打ちこむことができる充実した時間であると捉えています。文字数ももう足りなくなるので簡単にこれだけ言わせてください。4月の勧誘では皆さん頑張りましょう！

(第5学年)



## 第50回 全日本歯科学生総合体育大会

### 前人未到の8連覇

#### ●スキー部

第66代スキー部主将の遠藤です。3月7日から11日まで行われた長きに渡る大会で、プレッシャーの掛かる中、団体総合8連覇という形で終わることができ安堵しています。

大会初日、2日目は大雨、濃霧、強風という決して良いとは言えない状況の中、全力を出し、男女、団体全てにおいて首位に踊り出、天候とは裏腹に幸先の良いスタートとなりました。3日目は天候、成績共に良好でした。しかし大会最終日、尽力しましたが女子団体優勝をあと一步のところまで逃し2冠に終わってしまいました。来年度は3冠での9連覇を勝ち取りたいと思います。

(平成29年度スキー部主将 第5学年 遠藤祐希)



## 日本大学歯学部はどのような 研究をしているか

### 図書館事務課

第1学年「医療史」の授業において「日本大学歯学部がどのような研究をしているか」を調べるレポート課題が出され、その作成に図書館の資料が使われました。授業での発表の後、優秀作3点は図書館前のケースに展示されましたが、よく調べて構成された読みごたえのあるレポートでした(展示期間12月～2月)。ウェブでも公開しています(図書館HP>ブログ>右上の検索窓から「日本大学歯学部」で検索)。



## 平成30年度 歯学部進学相談会

日 時：6月24日(日) 10時00分～13時00分

場 所：日本大学歯学部4号館1階(受付)

### 概 要

#### ●個別相談

本学教員と職員が各種相談に乗らせていただきます。

#### ●全体説明

本学での学びやキャンパスライフ、入試方法についてご説明いたします。

#### ●模擬授業

本学教員による模擬授業を行います。

#### ●体験実習(事前予約が必要です)※定員20名

本学教員と学生が受験生に体験実習を行います。

参加希望の方は日本大学歯学部ホームページからお申し込みください。

体験実習への参加は受験生のみとなります。

## 第1回 専門学校進学相談会

日 時：6月24日(日) 10時00分～13時00分

場 所：日本大学歯学部1号館4階(専門学校講堂)

### 概 要

●個別相談：本学専任教員が各種相談を承ります。また、衛生専門学校では現役学生からの話を聞くことができます。

●校内見学：随時

#### ●体験実習

《技工専門学校》

技工操作の一部として金属の研磨体験をします。(随時)

《衛生専門学校》

11:00より専任教員による実習体験を行います。

※両校とも体験実習への参加は受験生のみとなります。

## 平成30年度 第1回 公開講座

日 時：平成30年5月26日(土) 13時30分より

場 所：4号館3階 第3講堂

講演者：歯科矯正学講座 教授 本吉 満

小児歯科学講座 専任講師 高森 一乗

演 題：きれいな歯並びはどのようにできるの？

食べ方・かみ合わせの発達と歯並び治療の実際

## NewsPlus α

### ☆自衛消防訓練の実施

3月6日(火) 16時より、2号館2Fクラウン・ブリッジ科医局からの火災を想定した消防訓練が行われた。

### ☆平成29年度第2回医療安全研修会・院内感染予防研修会の開催

3月14日(水) 17時15分より、第2回医療安全研修会・院内感染予防研修会・個人情報保護研修会が大講堂他で開催された。

### ☆病棟消防訓練の実施

2月5日(月) 16時より、休日・時間外の体制時に、2号館5階病棟区域での火災を想定した対応訓練及び患者搬送訓練が行われた。歯科医師、看護師、衛生専門学校生など多数が参加した。

### ☆平成30年度ポスト・ドクトラル・フェロー、リサーチ・アシスタント、ティーチングアシスタントが決定

PD…久保亜抄子・中谷 有香

RA…金子 茉莉・金子 啓介

TA…崔 慶一・村山 翔太・草場 公亮・須田 駿一・  
氷見 一馬・佐田 英理・相馬 久実・西原 安那・  
宮 千尋・山縣加夏子・梶原 美絵・生田目大介・  
神田 舞・杉村 留奈・高橋 奈央・横江 将・  
村上 尚希・木谷 仁

## 学 事

### 課程博士 (平成30年3月25日付)

Immunohistochemical study of FGFs, their receptors and other related factors during regeneration of the rat submandibular gland

(ラット顎下腺再生過程における線維芽細胞増殖因子とその受容体および関連因子の免疫組織化学的検討) 安光 智洋

光重合型歯科矯正用接着材で接着したセラミックブラケットの容易な撤去法の検討—マイクロカプセルとCO<sub>2</sub>レーザーの応用—

有馬 詩織

上顎低位犬歯モデルにおけるニッケルチタン合金ワイヤーの矯正力と摩擦力の関係

加藤 萌子

The effect of high-magnitude mechanical strain on bone nodule formation by rat calvarial progenitor cells

(強い機械的伸展力がラットカルバリア細胞の骨様結節形成に与える影響) 高橋 康代

BzATP induces extracellular matrix proteins synthesis via the PYK2-ERK pathway

(BzATPはPYK2-ERK経路を介して細胞外マトリックスタンパク合成を促進する) 鳥越 剛

低分子量および高分子量basic fibroblast growth factorの生物活性の比較

本澤 慶子

Influence of oxygen inhibition layer on the enamel bond strength and surface free energy characteristics of adhesive systems

(歯質接着システムの表層低重合層がエナメル質接着強さおよび表面自由エネルギーに及ぼす影響) 植田 浩章

超音波透過法を応用したシリコーンゴム印象材の硬化挙動測定

菅井 智恵

光照射の有無がデュアルキュア型暫間修復用レジンの機械的性質および硬化挙動に及ぼす影響

柴崎 翔

機能性モノマーMDPがリン酸エッチングされたエナメル質への接着疲労耐久性に及ぼす影響について

土屋 賢司

Influence of photoirradiation conditions on the dentin bond durability and interfacial characteristics of universal adhesives (光照射条件がユニバーサルアドヒーズの象牙質接着耐久性および界面科学的性質に及ぼす影響)

平井 一孝

リンケイ酸ナトリウムカルシウム含有歯磨剤がエナメル質の脱灰抑制および再石灰化に及ぼす影響—光干渉断層画像法による検討

松吉 佐季

The expression of Forkhead box transcription factor class O3a and Caspase-3 in human periapical granulomas

(歯根肉芽腫におけるForkhead box transcription factor class O3aおよびCaspase-3の発現)

石井 佳笑

Functional role of the silent information regulator 2

homolog 1 (SIRT1) in periapical granulomas

(歯根肉芽腫におけるSIRT1の機能的役割)

工藤 洋

Involvement of neuron-satellite glial cell interaction mediated by IL-1β in development of ectopic tooth pain following tooth pulp inflammation

(歯髄炎に伴う異所性歯痛発症におけるIL-1βを介したニューロン—衛星細胞連関の関与)

古宮 宏記

A collagen membrane containing osteogenic protein-1 promotes bone regeneration in a rat mandibular bone defect

(Osteogenic protein-1 添加コラーゲン膜はラット下顎角骨欠損の骨再生を促進する)

尾崎 愛美

Effect of bone augmentation ability of hydroxyapatite/collagen composite compared to absorbable collagen sponge

(吸収性コラーゲン・スポンジと比較したハイドロキシアパタイト／コラーゲン複合体の骨増生能の有意性)

小澤 康正

酸性電解機能水はEMMPRIN分泌を誘導する

楠 正文

Regenerative ability of augmented bone in rat calvarial guided bone augmentation model

(ラットGBAモデルによって得られた増生骨の再生能)

久保田達也

Regeneration of medullary neuronal circuits following inferior alveolar nerve transection

(下歯槽神経切断後に誘導される延髄内の神経回路再生)

鈴木 達郎

Effect of barrier permeability on rat calvarial guided bone augmentation model

(ラットGBAモデルにおけるキャップ天蓋の透過性が骨増生に及ぼす影響)

山本 崇申

Peripheral glial cell line-derived neurotrophic factor promotes the functional recovery of mechanical nociception following inferior alveolar nerve transection in rats

(末梢のグリア細胞由来神経栄養因子はラットの下歯槽神経切除による機械的侵害受容の機能的回復を促進する)

渡邊 雅弘

三叉神経脊髄核核尾側亜核および上部頸髄における視床または橋投射ニューロンの分布様式

齋藤 弘人

滅菌グローブに接触して汚染させたチタンメッシュの紫外線照射による生物学的活性

大久保貴久

Inhibition of PDGF-AA in human oral squamous cell carcinoma by static magnetic fields

(ヒト口腔扁平上皮癌細胞の静磁場曝露によるPDGF-AAの抑制) 石井 美穂

芳香族シラン化合物が酸化ケイ素とアクリル系装着材料の接着に及ぼす影響 岡崎 智世

CAD/CAMで製作した前装部をフレームワークに接着したインプラント支持ジルコニア補綴装置の破壊強度 高田 宏起

二ケイ酸リチウム含有セラミックスおよび石英とレジン系装着材料との接着強さにシランと酸性機能性モノマーが及ぼす影響 田口世里奈

高透光性ジルコニアに対するプライマー処理の違いがレジン系装着材料とのせん断接着強さに及ぼす影響 矢川 彰悟

Stress- and cell death-related signals in nerve growth factor-treated PC12 cells are differentially affected by varying butyric acid amounts (酪酸がNGF処理PC12細胞のストレスおよび細胞死関連シグナルに及ぼす影響) 関 啓介

RANKLは破骨細胞前駆細胞のIL-18 binding protein発現を誘導する 高橋 由美

In vivo micro CTを用いたBMAL1遺伝子ノックアウトマウスの下顎頭形態変化の経時的観察 平井 重徳

顎矯正手術適応患者の顎関節窩最菲薄部厚径のCTによる検討一骨格性下顎前突症患者について一 鈴木 敏浩

"Hypoxia increases CCAAT/enhancer-binding protein beta and receptor activator of NF-kappaB ligand expressions in cultured periodontal ligament cells (低酸素曝露後の培養歯根膜細胞にみられたC/EBP betaおよびRANKLの発現上昇) 伊藤 寿典

Exposure of human periodontal ligament fibroblasts to hypoxia upregulates the expression of angiogenin and VEGF in vitro (培養ヒト歯根膜線維芽細胞に対する低酸素曝露はアンジオゲニンとVEGFの発現を増加させる) 木船 崇

眼窩下神経損傷モデルラットにおける神経障害性疼痛の発症機構 佐藤 有華

Relationship between orofacial muscle strength and sarcopenia in older rehabilitation patients (入院高齢者における口腔顔面の筋力とサルコペニアの関連性) 堺 琴美

咬合挙上と水平的な咬合位の変化が舌骨上筋群の筋活動に及ぼす影響 林 晃成

リクライニング位が咀嚼時の唾液分泌量に及ぼす影響 平井 皓之

平成30年度日本大学歯学部 上村安男・治子研究費研究者

(所属・資格は3月31日現在)

(短期研究)

Table with 3 columns: Researcher Name, Title, and Department. Includes 生理学講座, 生化学講座, 衛生学講座.

平成30年度日本大学学術研究助成金

(所属・資格は3月31日現在)

(総合研究)

Table with 3 columns: Researcher Name, Title, and Department. Includes 生理学講座, 細菌学講座.

平成30年度日本大学歯学部

佐藤研究費(研究)給付者

(所属・資格は3月31日現在)

(口腔科学系)

Table listing faculty members in the Oral Science Department, including titles like 教授, 准教授, 専任講師 and names like 高橋 富久, 渡瀬 哲郎.

(基礎科学系)

Table listing faculty members in the Basic Science Department, including titles like 准教授, 専任講師 and names like 山岡 大, 佐藤 恵.

学生生活

クラブ春合宿一覧 (3月20日現在)

Table listing sports clubs and their spring camps, including departments like 合気道部, 空手道部, 奇術部, etc., and locations like 東京都千代田区, 千葉県館山市.